

一小建て替え便り Vol.1

平成22年11月30日発行

夢を育てる学校に

教育長ごあいさつ

立川市教育長 澤 利夫

思えば、請願採択から七年、いよいよ、全面的な建替えのための基本設計、実施設計づくりという新たな段階となってまいりました。

地域の誇りの学校として、子ども達の幸せな未来のために、夢を育てる学校づくりのスタートです。地域の英知を結集したマスタープランの実現には保護者の皆さまはもとより、多くの地域の皆様のお力添えが必要です。四人の教師と四十人の生徒で創立されて百四十数年。今、建学の理念・原点に立ち、夢を育てる新たな学校づくりの、みんなの夢を実現するための第一歩となりました。

未来へ向けて夢が叶うとき

校長先生ごあいさつ

立川市立第一小学校長 操木 豊

一小的子どもたちが毎日安全に過ごし、安心して学び、教職員がより一層教育活動に打ち込める校舎建替えに期待が高まります。

古くなったから建替えるのではなく、子どもたちの夢が育つ学校。児童の学びの場としてさまざまな学習に対応できる高機能施設。創立141年の歴史と、素敵な柴崎の地に調和しつなかりを一段と深める新校舎への変容に、子どもも大人も夢が膨らんで参ります。

未来へ向けて夢が叶うときが楽しみです。

建て替えに向けて今までこんなことをしてきました

平成19年より庁内に検討組織を作り、検討を重ねてきた他、平成21年度には学校関係者、保護者、公募市民、地域団体代表者、学識経験者等からなる「立川市立第一小学校建替検討協議会」を発足させ、月1回程度のペースで全9回にわたり基本構想を検討しました。その成果は平成22年5月に「第一小学校建替え事業マスタープラン」としてまとめられています。現在は基本設計作業にとりかかっており、具体的に必要となる教室などの広さや機能を幅広く検討しながら、子ども達が過しやすい学校となるような設計を目指しています。

なぜ一小を建替えるの？

第一小学校の現在の校舎ができたのは、昭和32年から35年にかけてです。それから既に50年以上経ちますが、平成7年の兵庫県南部地震をきっかけに、全国で学校校舎の耐震化が推進されました。東京都でも平成24年度までに耐震化を完了させるという施策を行っております。そして第一小学校については平成15年6月に建替の請願が出され、採択されております。そこで児童の早期安全を図るとともに、これからの立川の学校のあり方として多目的な地域の核となる施設を実現すべく、建替えを計画しています。

第一小学校建替えスケジュール(案)

項目	平成22年度			平成23年度						平成24年度						平成25年度						平成26年度														
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
基本設計	~H23. 6																																			
実施設計	H23. 7~H24. 7																																			
仮設校舎	建設工事																																			
仮設校舎	仮設校舎へ引越(H24. 8)~使用~新校舎へ引越(H26. 8)~解体																																			
新築工事	H24. 11~H26. 7																																			
引越(既存→仮設)	[10月]																																			
引越(仮設→新築)	[12月]																																			
工事スケジュール	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>仮設校舎完成</p> <p>仮設校舎建設開始</p> </div> <div> <p>新校舎建設開始</p> <p>仮設校舎引越</p> </div> <div> <p>新校舎完成</p> <p>既存校舎解体</p> </div> <div> <p>新校舎引越</p> <p>新校舎開校</p> </div> </div>																																			
	<p>10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10</p>																																			

複合化とは？

一小建替えの特徴の一つに複合化というものがあります。一小的建物と柴崎学習館、柴崎学童保育所、柴崎図書館を合わせて建設します。これは単に場所を共有するだけではありません。それぞれの施設が持つ機能を共有し、多彩な教育方法や学習形態などに対応を図るとともに、学校が地域コミュニティの拠点としての役割を持つことを視野に入れた、異世代間の交流を可能にする仕組みのことで、セキュリティの確保を最重要点と考えながら、機能的な施設の構造を考えていきます。

豆知識

- 現在の一小の規模・施設を確認します <建替え計画の前提>
敷地面積：校舎側（9,931㎡）・第二校庭（2,008㎡）
普通教室の面積：（59.67㎡/1教室） 体育館床面積：（696㎡）

お問い合わせは

教育部教育総務課学校建替等担当係

電話 042-523-2111 内線 2474

FAX 042-528-1204 電子メール kyouikusoumu@city.tachikawa.lg.jp